

白石中学校凱歌

遠藤恒彦 作詞

1. あかつき くーちに またたく ほしに
 2. たたかい おわりて はげんと にぎり

しずかに やらみる ふぼうの すかた
 われらが いまたつ なつかし のおか

かわのち ふさくる かぜのね さもて
 ぼーしく そうぜん あたりと このて

あしたの もーらに とどろく こえを
 ふぼうの みーねに ほしかげ しろレ

ああさす そろこえ にんくつ さすげ
 かんかの がーとよ いまかす かにて

にぎりたつーわれらが一ちレが のさけ びく
 さみレくもーか ねのねーむねをか すめゆ

白石中学校凱歌

一、 暁雲に 瞬く星に

静かに夢みる 不忘の姿

川面吹き来る 風の音冴えて

朝の空に 轟く声を

ああ聴けその声 忍苦の叫び

沸り立つ 我等が血潮の叫び

二、 戦終わりに 覇権を握り

我等が今起つ 懐しの岡

暮色蒼然 あたりをこめて

不忘の峰に 星影白し

干戈の音ぞ 今かすかにて

淋しくも鐘の音 胸をかすめゆく